業　界　雜　報

昭和製鋼所第二熔鑛爐 6 月 1 日火入式擧行

昭和製鋼所第四期擴充計畫の新設熔鑛爐2基のうち第1熔鑛爐は去る5月1日待望の火入式を行つて以來順調な操業を續け鐵鋼增產に拍車をかけてゐるが，これに引續き新設第2熔鑛爐も急速に操業を開始すべく準備が進められてゐたところこの程諸準備を完了したので6月1日火入式を擧行することになつた．哈爾賓6月1日抄

野村製鋼創立さる

野村合名傘下の本八幡製鋼（資本金百萬圓）千葉製鋼（同百五十萬圓）兩社はこのほど合併して野村製鋼を設立したが取締役會長は山内貢氏（野村合名專務理事）專務は堀居太郎氏（前本八幡專務）と決定した．　帝國興信 9 月 12 日抄

神戸製鋼工具工場今夏中に操業開始

神戸製鋼所では昨夏以來兵庫縣明石郡大久保町に工具工場を建設中であつたが，愈々今夏中に完成，操業開始の運びとなつた．なほ本社工場に於ける工具生產設備をも玆に移轉し集約生產を圖ると共に本社工場では更に高速度鋼の增產計畫を進める筈である．

帝國興信 6 月 12 日

熊　本　製　鐵　所

熊本市球磨郡人吉町丙408番地，株式會社熊本製鐵所は資本金18萬圓で木炭白銑の製作販賣を目的として昭和 15 年3月1日設立されたのである．元來人吉町は著名な木炭の產地で，之を燃料とする斯業が人吉町に設立されたのは誠に故なきにあらずである．然して鑛石は專ら砂鐵である．常務取締役久保十郎氏，取締役工場長永沼行氏．　帝國興信 6 月 12 日抄

尼崎製鐵熔鑛爐 6 月 7 日火入式完了

兵庫縣武庫郡大庄村，尼崎製鐵株式會社（資本金 3,900 萬圓內拂込金 1,250 萬圓）は銑鐵外8品目の生產を目的として昭和 12 年 8 月設立され爾來掲記の場所に工場新設中の處この程竣功を見たので，去る7日熔鑛爐の火入式並に創業式を行つた．

因に當社は最近重工業の進展に伴ひ銑鋼需要の激增に鑑み之が一貫作業體制確立を目的に設立を見たものであつて，當社生產の銑鐵は專ら尼崎製鋼所，久保田鐵工所に供給し副產物たるコールタール等は興國化學並に尼崎人造石油株式會社に於て處理される筈である．　帝國興信 6 月 14 日抄

平爐操業に於て銑 7・屑 3 の配合率實施に向つて技術的指導

アメリカの屑鐵禁輸以來我が製鐵業界は銑屑配合率の技術的研究を重ねつゝあるが商工省では鐵鋼統制會技術部と密接な聯絡をとり銑鐵 7 割，屑鐵 3 割の配合率を一般化すべく平爐業者に對して技術指導を行ひつゝあり．これら平爐業者中今年末までにこの水準に達し得ない業者に對しては，整理統合を行つて鐵鋼增產の徹底をはかることゝなる模樣である．

すなはち昨年 11 月の鐵鋼聯盟主催製鐵技術懇談會ではこれまでの水準たる銑鐵5割 7 分，屑鐵 4 割 3分の配合率に畫期的變更を加へ銑鐵 7 割，屑鐵 3 割の配合で充分なる成功ををさめることが確認されその後日鐵富士製鋼所の如きは自家發生の屑鐵のみを利用して銑鐵 8 割 8 分の配合率をもつて作業を行ひ相當優秀な成績を擧げてゐる．

かく銑，屑配合率の變更は漸次一般化しつゝあり鐵鋼一貫作業會社に於ては現在大體に於て平均銑鐵 8 割，屑鐵 2 割の配合率をもつて作業を行つてゐるが．平爐業者はいまだに銑鐵 6 割，屑鐵 4 割の作業を行つてゐるもので，それらの總平均は大體に於て銑鐵 6 割 6 分，屑鐵 3 割四分となつてゐる．　大朝 6 月 22 日

滿洲銑鐵補償 7 月 1 日以降實施の件近く決定せん

對日供給滿洲銑鐵補償については 21 日の國家總動員審議會においてその法的根據として製鐵用原材料配給等統制令の改正を可決したのでいよいよ來週中閣議に附議正式決定を見るはずである．しかして商工省は滿洲銑鐵補償制度を下記方法により實施することになつた．

1. 實施期日は 7 月 1 日以降としそれ以後の對日供給分に對し補償する．
1. 補償金の交付先は輸出統制機關たる日本鐵鋼業統制會社とす．
1. この補償制は昭和製鋼の對日供給銑鐵並に半製品に對し適用される．
1. 補償金は第 2 豫備金より支出すること．大朝 6 月 22 日

北支銑鐵の對日輸出決定

北支銑鐵の昭和 16 年度需給計畫については過般來各北支當局に於て立案中であつたが，このほど特殊開發部門，一般民衆（邦人，華人工場）對日輸出，對中支移出の四部門にわけ本年度の出銑豫定量と睨合せて計畫的配給をなすことに決定した．このうち對日供給については，從來種々の事情により實現を見なかつたが今回やうやく決定し本年度より實施することになつた．　大朝 6 月 22 日

鐵鋼の「物動」實施に對する上半期具體計畫決定

鐵鋼統制會ではさきに政府側より本年度物動計畫の內示をうけてこれにもとづき實施具體案を作成中であつたが，26 日の理事會において本年度前半期（4 月—9 月）の實施具體計畫を決定し，直ちに商工省，企畫院などに對し承認を求めることゝなつた．すなはち鐵鋼統制會では本年度物動計畫實施具體案のうち鐵鋼の生產部門に關してはすでに各製鐵會社に對する品種別，寸法別生產割當數量を決定し各社にこれを通達したが，これについて鐵鑛石，石炭，マンガンなど製鐵原料の配給計畫も大體決定を見，これらの諸計畫と睨み合せ製品の配給計畫も大體に於てまとまるにいたつたので同日の理事會に於て鐵鋼に關する物動計畫實施具體案の全貌について最後的決定を行つたわけである．　大朝 6 月 27 日

鐵鋼統制會に諮問機關設置——近く決定されん

鐵鋼統制會では統制會規約第 27 條「事務局長は日常業務の遂行に關し會員の意見を徵するため必要に應じ會議を開催することを得」の規定により事務局長の諮問機關を設置することになつてゐるが，26 日の理事會に於て同機關の組織構成などにつき協議した結果，だいたいの成案を得た．しかしてこの機關はすでに鐵鋼聯合會當時にも存在してゐたが，利益代表の合議體たる色彩が濃厚であつたので今回は極度にこれを排除してあくまで統制會の指導者理念に立脚して所謂「下意上達」の機關とし統制會と生產業者との遊離をさけることを目的としてゐる．この機關の組織構成はつぎの通りである

1. 諮問機關は取敢へず原料，生產，配給，勞務の四部會にわけ今後必要に應じ技術公開に關する部會も置く
1. 四部會の委員は會員中から選定する

1. 四部會はさらに品種別その他の條件に基づき各部門毎に專門委員會を設ける
1. 專門委員會は業者中より選任する

しかしてこの部會は必要に應じ隨時開催するが，まづ近く配給部會を開催することゝなつてをり，この機關の人事は來週中には全部決定の見込みである．　大朝 6 月 27 日

日鐵系鐵鋼を他社へも配分——統制會仲介に立たん

昨秋アメリカの屑鐵禁輸以後わが製鐵事業には種々情勢の變化を來しことに鐵鑛石の需要增加には著しきものがあつて鐵鑛石の配給統制の必要は漸次强まりつゝあるが，鐵鋼統制會でもこの問題を取上げ鐵鑛石の配給について種々の方策を考究中である．現在鐵鑛石の取得については日鐵，日鐵鑛業，石原產業などが主として當つてをり日鐵系會社の鑛石は主として日鐵が使用してをり日鐵以外の銑鋼一貫作業諸會社は何れも鑛石の入手に多少制約を受けるかの如き傾向にあつたが，鐵鋼增產が國防上もつとも重要なる問題となつた今日に於ては鐵鑛石を重點主義によつて高能率，高生產の會社に優先的に配給することが益々必要となりつゝある情勢に鑑み，統制會が中心となつて公平なる配給計畫の實施に對する對策の樹立に乘り出さんとするものである．

しかしてこれがためには製鐵原料のプール計算を行ひ一元的な原料配給機關を設けることがもつとも理想的であるが，日鐵と日鐵鑛業などは特殊な關係にあつてこれを遽に切離して一元的會社に合併するなどのごときは目下のところでは至難とされてゐるので，一元的原料プール會社の實現は困難とされてゐるが日鐵系諸會社で，採取せる長江筋の鑛石は統制會が仲介に入つてほかの會社に部分的に分配するなどの方法が考慮され，これについては目下實施を急いでゐる．かくの如く鐵鑛石の配給統制は漸次强化すべき運命にあるので統制會のこれに對する今後の動きには注目すべきものがある．

大朝 6 月 29 日

越後赤谷鑛山の採掘開始

地下資源開發の重大任務を負うて登場した日鐵鑛業株式會社の越後北蒲原郡赤谷鑛山では，いよいよ諸般の設備完成本格的採掘期に入つたので今回新設東赤谷驛前廣場で莊嚴なる開山式を擧げたが，同鑛山は現に採掘中の蓑立澤鑛區の如きは鐵の含有量 65 %と云ふ優良な鑛石が到る處に露出してゐる．東京中外 6 月 29 日抄

日滿支を一貫する鐵鋼增產具體案作成に鐵鋼統制會之を着手

鐵鋼統制會では政府の物動計畫に基く實施具體案の作成も一段落したので，さらに一段の飛躍を行ひいよいよ鐵鋼增產計畫の樹立に着手することゝなり，3日の定例理事會からまづ自由討議に入つたが今後は漸次鐵鋼增產具體案の作成に邁進することゝなつてゐる．

從來鐵鋼增產に關する計畫は，しばしば各方面に於ても試みられたが，これらの計畫は多く業者の利潤追求の立場から計畫されたもので，遺憾の點が少くはなかつた．

よつて今回鐵鋼統制會は，眞に國防力强化の見地から，日滿支を一貫する鐵鋼增產計畫を樹立せんとするもので，銑鐵をはじめ，鋼材，鋼片，鐵鋼乃至鐵製品にいたる鐵鋼增產の全部面にわたり，生產の立地條件その他あらゆる條件を考慮しつゝ新たなる立場から綜合的增產計畫を樹立せんとするものである．

たとへば現在わが國は昨秋のアメリカの屑鐵禁輸以來，銑鐵增產の必要には拍車をかけられたがその銑鐵の製造は鐵鑛石または製鐵用原料炭の入手容易なる滿洲または北支に於て行ひ，わが國內に於ては，銑鐵製造のほか主として鋼材，壓延，完製品等の製造を行つた方が有利であるといふ見地から將來に於ては北支に熔鑛爐を建設し，銑鐵にしてから內地に運ぶといふのも一つの有力な意見である．かくの如く今後統制會では日滿支を一貫する大局的な見地から鐵鋼增產に關する綜合的計畫を樹立せんとするもので，その成行はすこぶる注目されてゐる．　東朝 7 月 4 日

鐵鋼「物動」最後的決定

鐵鋼統制會ではさきに政府側より內示を受けた鐵鋼に關する物動計畫實施具體案につき，すでにその大綱を決定したが，3 日の理事會に於て，さらに實數にもとづきこれを檢討して，最後的の決定を得るに至つたのでたゞちに商工省，企畫院その他關係各省に對し承認を求めることゝなつた．　東朝 7 月 4 日

製鋼用補助原料の配給に鐵鋼統制會之が斡旋に乘出す

製鋼原料の補助原料たる石灰石，ドロマイト等の配給については從來各製鐵會社が各自にこれを行つてゐたが，殊に小會社に於ては輸送その他の關係から，これら原料の入手困難を來す傾向にあつた．よつて鐵鋼統制會では 3 日の定例理事會で，この問題をとりあげ研究の結果，いよいよ統制會が直接これら原料配給の斡旋を行ふことに決定した．　東朝 7 月 4 日

鐵鋼統制會に於ける貧鑛の酸性製錬に關する實驗開始—成功の上は技術公開

最近のわが製鐵業界は，アメリカの屑鐵禁輸以來，製鐵技術に種々情勢の變化を來し，これに對する對策を講じつゝあるが，鐵鋼統制會では，このほど昭和製鋼所々有の 30 t 熔鑛爐を讓り受け，試驗用熔鑛爐として種々の實驗に供することゝなつた．

その實驗に際して，まづ最初にとりあげられた問題は，貧鑛處理法の研究である——現在わが國は大體品位 50 %上下の鐵鑛石を原料にして銑鐵をつくつてゐるが，これらの鐵鑛石は大部分マレー，フイリツピン，支那その他からの輸入に仰いでゐる．そこでもしも今後國際情勢の變化によつてこれらの鐵鑛石の輸入が杜絕すれば，いきほひ東亞共榮圈內だけからの貧鑛をも利用しなければならないことになるので，この際貧鑛處理の實驗に乘出さうとするものである．

ドイツに於てはずつと以前から品位 26—27% 位の貧鑛處理に成功し，現在ではどんどんこれによつて銑鐵の生產を行つてゐる．今回の實驗もかういつた貧鑛を材料として，主として酸性操業による實驗を行ふが，この酸性操業といふのは從來の熔鑛爐が大部分鹽基性のものであつたのに對して，酸性の熔鑛爐を使用する．

鹽基性の熔鑛爐によれば，鐵分 50 %前後の鐵鑛石を使用するため，鑛滓が流れなくてもさほどの不便はないが酸性操業を行へば貧鑛を使用しても鑛滓が流れるので操業が比較的容易であるとされてゐる．

鐵鋼統制會では今後技術部が中心となつて試驗爐により種々の實驗を行ふが，成績がよければその都度技術公開を行つてその結果を報告する．この實驗は今後の國際情勢の變化に對處すべきわが製鐵技術の變更に重要な資料を提供するものであるから其役割は頗る重要なものである．　東朝 7 月 4 日